

日本人学校等学校採用教員募集説明会のお知らせ
(海外子女教育振興財団)

二〇二三年四月から日本人学校等に赴任する学校採用教員(本財団による支援制度を通じて日本から招聘する教員)を募集するにあたり、全国で説明会を開催いたします。詳細は決まり次第、ウェブサイトに随時、案内して参りますので参照ください。

なお本財団では、学校採用教員の赴任中や帰国後、日本国内での教員採用や就職に関する幅広い情報提供等の支援も行っています。応募・問い合わせ先

海外子女教育振興財団 在外校
支援チーム

URL <https://www.joes.or.jp/zaigai/teacher>

第六十八回青少年読書感想文全国コンクール実施要項
(公益社団法人全国学校図書協会議会/毎日新聞社)

趣旨
○青少年が本に親しむ機会をつくり、読書の素晴らしさを体験させ、読書の習慣化をはかる。

○より深く読書し、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。さらに、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

応募内容

「課題読書」「自由読書」

応募方法

作品は学校(日本人学校・補習校)を通じて提出(現地校等のみの在籍者の応募は不可)。

*詳しい応募要項等は公式ウェブサイトをご確認ください。

応募期間(海外) 九月三十日必着

入賞発表 在籍校に通知ほか

賞 内閣総理大臣賞等

問い合わせ先(海外分)

公益社団法人全国学校図書協
議会

公式ウェブサイト
URL <https://www.dokusyokansoubun.jp>

第四十一回「海とさかな」自由研究・作品コンクール実施概要
(朝日新聞社/朝日学生新聞社)

趣旨
子どもたちの創造性を高めるとともに、日本の水産業を考え、学習する機会を与える。

テーマ 海とさかなと私たち

応募資格 小学生

応募内容

○研究部門 自由研究・観察図

○創作部門 作文、工作・絵本、

絵画

作品応募受付期間

六月一日～九月三十日

賞 農林水産大臣賞、文部科学大臣賞等多数。応募者全員に参加

賞と「海とさかな」博士号認定証。

入賞発表 十二月上旬

公式ウェブサイト
URL <https://www.unihosakana.com>

第二十六回図書館を使った調べる学習コンクール募集要項
(公益財団法人図書館振興財団)

目的

図書館の利用促進と調べる学習の普及

募集内容

①調べる学習部門

小学生の部(低学年・中学年・

高学年)、中学生の部、高校生の

部、大人の部、子どもと大人の部

図書館を使って調べ、まとめた

作品。調べるテーマは自由。

②調べる学習指導・支援部門

図書館を使った調べる学習の指

導・支援の実践をまとめた作品留意点

・応募者のオリジナル作品に限る

・他のコンクールとの二重応募は

不可で、日本語の作品に限る

・応募フォームからエントリ

・入賞作品の著作権は公益財団法

人図書館振興財団に帰属

募集期間 九月十二日～十月三日

必着

賞 文部科学大臣賞など多数。応

募者全員に参加賞
結果発表

二〇二三年一月十一日 図書館

振興財団ウェブサイトにて

応募・問い合わせ先

公益財団法人図書館振興財団

URL: <https://concourse.toshokan.or.jp>

(二社)日本在外企業協会と勉強会を実施
(海外子女教育振興財団)

海外子女教育振興財団(以下、JOES)は四月十八日、日本在外企業協会(以下、日外協)の専務理事・常務理事をはじめとした幹部スタッフ六名を招いて勉強会を実施、情報を交換し合った。日外協は一九七四年に日本経済団体連合会、日本商工会議所、経

済同友会、日本経営者団体連盟、日本貿易会、関西経済連合会、日本政府のバックアップのもと、任意団体として設立された。

以来、社団法人化、海外安全センター創設、一般社団法人に移行といった歴史を経て、日本企業の海外事業活動のグローバル化を支援している。そのなかで「教育面での活動においてはJOESと重なる部分があるのではないか」、さらにJOESからも「共に協力し合い、さらに発展させていけることがあるのではないか」との声が上がり、お互いを知る機会になればと、このたびの勉強会開催となった。

まず日外協から、沿革や組織、具体的な活動を含めた概要の説明があった。「国際人事・労務関連事業」「海外安全・危機管理事業」「海外健康医療事業」に分かれ、おもに講演会・セミナーや研究会の実施、アンケート調査、刊行物の出版などを社会の動きに応じて行っているほか、時流に沿ったテーマや具体的な企業事例等を盛り込んだ国際経営情報誌である『月刊グローバル経営』を年十回発行したり、アセアン諸国の日本語スピーチコンテストの優秀者を招聘

するなどの国際交流事業を行っている。さらに政府に対して二カ国間社会保障制度や海外子女教育、海外安全・危機対応など企業経営のグローバル化に伴う課題についての建議・提言も行っている。

概要説明後、日外協とJOESのスタッフからは「教育は大切であり、そこに携われるのは素晴らしいこと」との共通認識のもと、両者が連携することで、「より深いサービスを効率よく行えるようになるのではないか」、「新しい分野を開拓できるのではないか」など、前向きな意見や感想が多く聞かれた。

終始和やかな雰囲気のみか会議は途切れることなく、今後ますます関係を密に互いのサービスを上げていくことを誓い合った。

JOES会員校オンラインサロン特別企画「速報コロナ禍の海外校事情」を実施 (海外子女教育振興財団)

海外子女教育振興財団(以下、JOES)は四月二十六日、帰国生受入校の先生や帰国生の保護者ボランティアの会等を対象に、J

OES帰国生受入校コンシェルジュの司会進行で、会員校オンラインサロン「速報 コロナ禍の海外校事情」を開催し、約六十人が参加した。

第一部ではJOESから海外校の事情に関する説明、第二部では参加者が数人ずつのグループに分かれ、ざつとばらんに意見交換を行った。

コロナ禍となって二年余り、その間、急な帰国を余儀なくされた帰国生を臨機応変に編入学させる等の対応をした受入校は少なくない。一方、海外では在留国の要請に従い、突然の閉校をせざるを得ない状況に追い込まれた日本人学校や補習授業校が多くあった。

かつて経験したことのない緊急事態に、子どもたちや保護者、海外の学校では、どのような状況だったのか。JOESは調査結果や寄せられた相談内容から、次の五点に分けて見解を示し、受入校に対して、「子どもや保護者のなかには、帰国の準備をできない状況で帰らざるを得ない人たちが少なくない。できるだけ柔軟に迎え入れてあげてほしい」と要望した。

① 二〇一九年度からのJOESの教育相談数の変遷からわかる

こと。

② 二〇二〇年度からの日本人学校の状態について。どのような影響が出てどう対応したか。

③ 二〇二〇年度の補習授業校の状況例。どのような影響が出てどう対応したか。および周辺の現地校・インターナショナルスクールの状況。

④ 文科省の対応を中心に受け入れの課題について。受入校に期待されていること。

⑤ JOESが把握している問題点および総括。

*JOESでは、「帰国生受入校コンシェルジュ」が帰国生受入校のご相談に対応しています。

<https://www.joes.or.jp/kokunai/consulting>

四月二十九日付で春の叙勲が発表され、海外子女教育振興財団の小林栄三会長が旭日重光章を受章した。日本の情報ビジネスの礎を築き、国際貿易の拡大・発展に貢献したことが認められた。

新規に入会維持会員

- ・神戸山手女子中学校高等学校
- ・東京女子学園中学校・高等学校
- ・日本大学櫻丘高等学校